

千葉駅西口のにぎわい創出

特例制度活用 マルシェ初開催

JR千葉駅西口エリアのにぎわいと魅力創出に向け、初のイベント「千葉西口マルシェ（市場）」が27、28日の2日間にわたり、西口駅前広場で開催された。主催したのは同駅西口再開発ビル「WESTRIO（ウエストリオ）」のテナント会（大矢輝会長、28社加盟）。「道路占用許可の特例制度」を活用した取り組みで、こだわりの商品やサービスを提供する店が並びにぎわった。

マルシェは臨海地区への体験をテーマに開かれた。玄関口となる西口に、人と市まちづくり推進課による人が触れ合える場をつくらせ、都市再生特別措置法に基づいて「道路占用許可の特例制度」を活用したことで、段出会うことのない特別な本来は道路とみなされてい



西口駅前広場で初開催された「千葉西口マルシェ」
＝27日、JR千葉駅前

る同駅前広場でのマルシェ開催にこぎつけた。こうした事例は全国初という。

会場には純正椿油を使った「おかき」や、「和紅茶」と呼ばれる新ジャンルの紅茶、おからを使ったヘルシードーナツなどのスイーツが販売された他、ネイルアートの体験コーナーなども設けられ、2日間で延べ約30店が出展した。

テナント会の成英毅副会長(36)は「(曲折を経た西口再開発で)眠っていた約

20年間が動き出し、1年半前にビルはできたが、それでも街は動いていなかった。活性化に向け人と人、地域と地域が結びついて何かやっていけたらと思いきや、

マルシェを企画した。1回やっただけでは意味がないので継続してやっていきたい」と話し、定期的を開催する方針を示した。次回は9月に行う予定という。